



## 初期設定

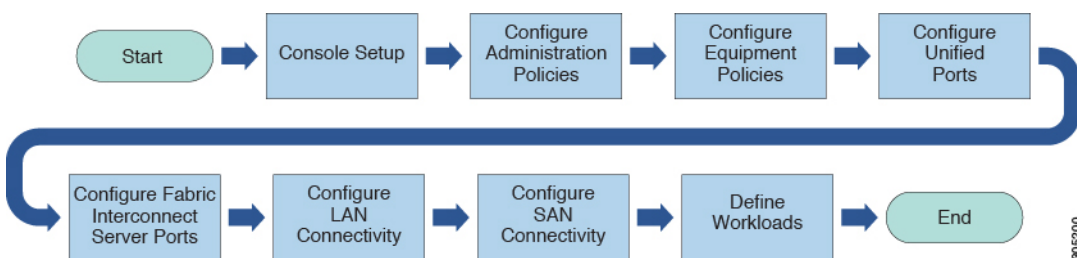
- 初期設定の概要 (1 ページ)
- コンソールのセットアップ (2 ページ)
- 管理ポリシーの設定 (12 ページ)
- 装置ポリシーの設定 (12 ページ)
- ユニファイドポートの設定 (13 ページ)
- ファブリック インターコネクト サーバポートの設定 (13 ページ)
- LAN 接続の設定 (13 ページ)
- SAN 接続の設定 (14 ページ)
- ワークロードの定義 (14 ページ)

## 初期設定の概要

Cisco UCS Manager の初期設定を開始する前に、このガイドの「*Cisco Unified Computing System* の基本事項」セクションおよび「システム要件」セクションを参照してください。

Cisco UCS Manager の初期設定には、次の手順が含まれています。

図 1: Cisco UCS Manager 初期設定の概要



1. **コンソールの設定**：この手順では、シリアル コンソールを使用して Cisco UCS Manager を起動します。ファブリック インターコネクトで初期設定ウィザードを実行し、管理用サブ ネットに 3 つの IP アドレスを割り当てます。各ファブリック インターコネクトに 1 つずつ、および Cisco UCS Manager インスタンスを定義し管理可能にする仮想 IP インターフェイスに 1 つです。この手順の詳細については、次を参照してください。 [コンソールのセットアップ \(2 ページ\)](#)

2. **管理ポリシーの設定**：この手順では、DNS サーバ、NTP、タイムゾーンなどの管理ポリシーを設定します。これらはすべてのコンポーネントが正しく機能するために必要です。この手順の詳細については、「[管理ポリシーの設定 \(12 ページ\)](#)」を参照してください。
3. **装置ポリシーの設定**：この手順では、Cisco UCS Manager で装置ポリシーを設定して、シャーシディスクバリエーションを実行します。シャーシディスクバリエーションポリシーでは、I/O モジュールとファブリックインターコネクタの間の最小限の接続数を指定します。この値を明示的に設定する必要があります。この手順の詳細については、次を参照してください。[装置ポリシーの設定 \(12 ページ\)](#)
4. **ユニファイドポートの設定**：この手順では、プライマリと従属のファブリックインターコネクタでユニファイドポートを設定します。[ユニファイドポートの設定 \(13 ページ\)](#)
5. **ファブリックインターコネクタポートの設定**：この手順では、ファブリックインターコネクタサーバポートを設定します。この手順の詳細については、以下を参照してください。[ファブリックインターコネクタサーバポートの設定 \(13 ページ\)](#)
6. **LAN 接続の設定**：この手順では、ファブリックインターコネクタから初期 LAN 接続を確立します。この手順の詳細については、「[LAN 接続の設定 \(13 ページ\)](#)」を参照してください。
7. **SAN 接続の設定**：この手順では、ファブリックインターコネクタから初期 SAN 接続を確立します。この手順の詳細については、次を参照してください。[SAN 接続の設定 \(14 ページ\)](#)
8. **ワークロードの定義**：初期設定が終了した後、ワークロードを定義できます。この手順の詳細については、「[ワークロードの定義 \(14 ページ\)](#)」を参照してください。

## コンソールのセットアップ

Cisco UCS ファブリックインターコネクタの初期設定を行う際には、コンソール接続を使用します。単一ドメイン内の複数のファブリックインターコネクタ間では、Cisco UCS Manager のバージョンを同一にする必要があります。サポートされているファームウェアバージョンを確認するには、最新の『*Cisco UCS Manager* リリースノート』および『ファームウェア管理ガイド』を参照してください。

### はじめる前に

コンソール設定のために必要な次の情報を集めます。

- システム名
- admin アカウントのパスワード。Cisco UCS Manager のパスワードのガイドラインに適合する強力なパスワードを選択します。このパスワードフィールドは空にできません。
- 管理ポートの IPv4 とサブネットマスク、または IPv6 アドレスとプレフィックス。
- デフォルトゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス。

- DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレス（任意）。
- システムのドメイン名（任意）。

### インストール方法

GUI または CLI を使用して Cisco UCS Manager を設定できます。

インストール方法	参照先
GUI	<a href="#">GUI を使用したプライマリ ファブリック インターコネクトの設定（3 ページ）</a>
CLI	<a href="#">CLI を使用したプライマリ ファブリック インターコネクトの設定（7 ページ）</a>

## ファブリックインターコネクトの設定

ファブリックインターコネクトの初期設定は、コンソール接続を使用して実行します。単一ドメイン内のファブリック インターコネクト間では、Cisco UCS Manager のバージョンを同一にする必要があります。サポートされているファームウェアバージョンを確認するには、最新の『Cisco UCS Manager リリース ノート』および『ファームウェア管理ガイド』を参照してください。

### GUI を使用したプライマリ ファブリック インターコネクトの設定

以下に示すプライマリ ファブリック インターコネクトの設定手順に従うか、または「[Cisco UCS Manager Initial Setup part 1](#)」を視聴します。

#### Procedure

- 
- ステップ 1** ファブリック インターコネクトの電源を入れます。  
ファブリック インターコネクトが起動すると、電源投入時セルフテストメッセージが表示されます。
- ステップ 2** システムがリリースを取得する場合は手順6に移動します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
- ステップ 3** コンソールポートに接続します。
- ステップ 4** インストール方式プロンプトに **gui** と入力します。
- ステップ 5** システムが DHCP サーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
- ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレス
  - ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィクス。

- ファブリック インターコネクタに割り当てられたデフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス

**Note** クラスタ設定では、設定時に両方のファブリック インターコネクタに同じ管理インターフェイスのアドレス タイプを割り当てする必要があります。

- ステップ 6** プロンプトから、Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS Manager GUI 起動ページに移動します。
- ステップ 7** Cisco UCS Manager GUI 起動ページで [簡易設定 (Express Setup)] を選択します。
- ステップ 8** [簡易設定 (Express Setup)] ページで [初期設定 (Initial Setup)] を選択し、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 9** [クラスタおよびファブリックの設定 (Cluster and Fabric Setup)] 領域で、
- クラスタ リングを有効にするオプションをクリックします。
  - [ファブリック設定 (Fabric Setup)] オプションで [ファブリック A (Fabric A)] を選択します。
  - [クラスタ IP アドレス (Cluster IP Address)] フィールドに、Cisco UCS Manager が使用する IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
- ステップ 10** [System Setup] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
システム名	Cisco UCS ドメインに割り当てられる名前。 スタンドアロン設定では、システム名に「-A」が追加されます。クラスタ設定では、ファブリック A に割り当てられたファブリック インターコネクタに「-A」が、ファブリック B に割り当てられたファブリック インターコネクタに「-B」が追加されます。
[Admin Password]	ファブリック インターコネクタ上の Admin アカウントに使用されるパスワード。 Cisco UCS Manager のパスワードのガイドラインに適合する強力なパスワードを選択します。このパスワードは空にできません。
[Confirm Admin Password]	ファブリック インターコネクタ上の Admin アカウントに使用されるパスワード。
[Mgmt IP Address]	ファブリック インターコネクタの管理ポートのスタティック IPv4 または IPv6 アドレス。

フィールド	説明
[Mgmt IP Netmask] または [Mgmt IP Prefix]	<p>ファブリック インターコネクタの管理ポートの IPv4 サブネットマスクまたは IPv6 プレフィクス。</p> <p><b>Note</b> [Mgmt IP Address] に入力したアドレス タイプに基づいて、[Mgmt IP Netmask] または [Mgmt IP Prefix] の入力が必要とされます。</p>
[Default Gateway]	<p>ファブリック インターコネクタ上の管理ポートに割り当てられるデフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス。</p> <p><b>Note</b> [Mgmt IP Address] フィールドに入力したアドレス タイプに基づいて、システムから [Default Gateway] アドレス タイプへの入力が必要とされます。</p>
DNS サーバーの IP (DNS Server IP)	<p>ファブリック インターコネクタに割り当てられる DNS サーバーの IPv4 または IPv6 アドレス。</p>
[Domain Name]	<p>ファブリック インターコネクタが存在するドメインの名前。</p>

- ステップ 11** [送信 (Submit) ] をクリックします。  
 セットアップ操作の結果がページに表示されます。

## GUI を使用した従属ファブリック インターコネクタの設定

以下に示す従属ファブリック インターコネクタの設定手順に従うか、または「[Cisco UCS Manager Initial Setup part 2](#)」を視聴します。



**Note** 既存の高可用性クラスタに新しいファブリック インターコネクタを追加するとき（新規インストールやファブリック インターコネクタの交換時など）、認証方式がリモートに設定されている限り、新しいデバイスはクラスタにログインできません。新しいファブリック インターコネクタをクラスタに正常に追加するには、認証方式を一時的にローカルに設定し、プライマリファブリック インターコネクタのローカル管理者資格情報を使用する必要があります。

## Procedure

---

- ステップ 1** ファブリック インターコネクトの電源を入れます。  
ファブリック インターコネクトが起動すると、電源投入時セルフテスト メッセージが表示されます。
- ステップ 2** システムがリースを取得する場合はステップ 6 に移動します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
- ステップ 3** コンソール ポートに接続します。
- ステップ 4** インストール方式プロンプトに **gui** と入力します。
- ステップ 5** システムが DHCP サーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
- ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレス
  - ファブリック インターコネクトの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィクス。
  - ファブリック インターコネクトに割り当てられたデフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス
- Note** クラスタ設定では、設定時に両方のファブリック インターコネクトに同じ管理インターフェイスのアドレス タイプを割り当てる必要があります。
- ステップ 6** プロンプトから、Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS Manager GUI 起動ページに移動します。
- ステップ 7** Cisco UCS Manager GUI 起動ページで [簡易設定 (Express Setup)] を選択します。
- ステップ 8** [簡易設定 (Express Setup)] ページで [初期設定 (Initial Setup)] を選択し、[送信 (Submit)] をクリックします。  
ファブリック インターコネクトは、第 1 ファブリック インターコネクトの設定情報を検出します。
- ステップ 9** [クラスタとファブリックの設定 (Cluster and Fabric Setup)] 領域で、
- a) [クラスタリングを有効にする (Enable Clustering)] オプションを選択します。
  - b) [ファブリックの設定 (Fabric Setup)] オプションに対して [ファブリック B (Fabric B)] が選択されていることを確認します。
- ステップ 10** [システム設定 (System Setup)] 領域の [マスターの Admin パスワード (Admin Password of Maste) r] フィールドに Admin アカウントのパスワードを入力します。  
[Manager の初期設定 (Manager Initial Setup)] 領域が表示されます。
- ステップ 11** [Manager Initial Setup] 領域で表示されるフィールドは、第 1 ファブリック インターコネクトを IPv4 または IPv6 のどちらの管理アドレスで設定したかによって異なります。次のように、設定に適したフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Peer FI is IPv4 Cluster enabled. Please Provide Local fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Address]	ローカル ファブリック インターコネクタの Mgmt0 インターフェイスの IPv4 アドレスを入力します。
[Peer FI is IPv6 Cluster enabled. Please Provide Local fabric interconnect Mgmt0 IPv6 Address]	ローカルのファブリック インターコネクタの Mgmt0 インターフェイスの IPv6 を入力します。

- ステップ 12 [送信 (Submit) ] をクリックします。  
セットアップ操作の結果がページに表示されます。

## CLI を使用したプライマリ ファブリック インターコネクタの設定

### Procedure

- ステップ 1 コンソール ポートに接続します。
- ステップ 2 ファブリック インターコネクタの電源を入れます。  
ファブリック インターコネクタが起動すると、電源投入時セルフテスト メッセージが表示されます。
- ステップ 3 設定されていないシステムがブートすると、使用する設定方法の入力を要求するプロンプトが表示されます。 **console** と入力して、コンソール CLI を使用した初期設定を続行します。
- ステップ 4 **setup** と入力して、初期システム設定を続行します。
- ステップ 5 **y** と入力して、初期設定を続行することを確認します。
- ステップ 6 管理アカウントのパスワードを入力します。
- ステップ 7 確認のために、管理アカウントのパスワードを再入力します。
- ステップ 8 **yes** と入力して、クラスタ構成の初期設定を続行します。
- ステップ 9 ファブリック インターコネクタのファブリックを入力します (**A** または **B**) 。
- ステップ 10 システム名を入力します。
- ステップ 11 ファブリック インターコネクタの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。  
IPv4 アドレスを入力する場合は、IPv4 サブネットマスクを入力するように求められます。IPv6 アドレスを入力する場合は、IPv6 ネットワーク プレフィックスを入力するように求められます。
- ステップ 12 各 IPv4 サブネット マスク、または IPv6 ネットワーク プレフィックスを入力し、**Enter** キーを押します。  
ファブリック インターコネクタの管理ポート用に入力したアドレス タイプに応じて、デフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレスが求められます。

**ステップ 13** 次のいずれかを入力します。

- デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレス
- デフォルト ゲートウェイの IPv6 アドレス

**ステップ 14** DNS サーバの IP アドレスを指定する場合は **yes** を入力し、指定しない場合は **no** を入力します。

**ステップ 15** (Optional) DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。

アドレス タイプはファブリック インターコネク트의管理ポートのアドレス タイプと同じである必要があります。

**ステップ 16** デフォルトのドメイン名を指定する場合は **yes** を入力し、指定しない場合は **no** を入力します。

**ステップ 17** (Optional) デフォルト ドメイン名を入力します。

**ステップ 18** 設定の概要を確認し、**yes** と入力して設定を保存および適用するか、**no** と入力して設定ウィザードを初めからやり直して設定を一部変更します。

設定ウィザードのやり直しを選択した場合は、以前に入力した値が角カッコで囲まれて表示されます。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、**Enter** を押します。

### Example

次に、コンソールおよび IPv4 管理アドレスを使用してクラスタ構成の最初のファブリック インターコネクートをセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Enter the setup mode (restore from backup or initial setup) [restore/setup]? setup
You have chosen to setup a new switch. Continue? (y/n): y
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
Do you want to create a new cluster on this switch (select 'no' for standalone setup or
if you want this switch to be added to an existing cluster)? (yes/no) [n]: yes
Enter the switch fabric (A/B): A
Enter the system name: foo
Mgmt0 IPv4 address: 192.168.10.10
Mgmt0 IPv4 netmask: 255.255.255.0
IPv4 address of the default gateway: 192.168.10.1
Virtual IPv4 address: 192.168.10.12
Configure the DNS Server IPv4 address? (yes/no) [n]: yes
DNS IPv4 address: 20.10.20.10
Configure the default domain name? (yes/no) [n]: yes
Default domain name: domainname.com
Join centralized management environment (UCS Central)? (yes/no) [n]: no
Following configurations will be applied:
Switch Fabric=A
System Name=foo
Management IP Address=192.168.10.10
Management IP Netmask=255.255.255.0
Default Gateway=192.168.10.1
Cluster Enabled=yes
Virtual Ip Address=192.168.10.12
DNS Server=20.10.20.10
```



```

Domain Name=domainname.com
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes

次に、コンソールおよび IPv6 管理アドレスを使用してクラスタ構成の最初のファブリック インターコネクタをセットアップする例を示します。

Enter the installation method (console/gui)? console
Enter the setup mode (restore from backup or initial setup) [restore/setup]? setup
You have chosen to setup a new switch. Continue? (y/n): y
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
Do you want to create a new cluster on this switch (select 'no' for standalone setup or if you want this switch to be added to an existing cluster)? (yes/no) [n]: yes
Enter the switch fabric (A/B): A
Enter the system name: foo
Mgmt0 address: 2001::107
Mgmt0 IPv6 prefix: 64
IPv6 address of the default gateway: 2001::1
Configure the DNS Server IPv6 address? (yes/no) [n]: yes
DNS IP address: 2001::101
Configure the default domain name? (yes/no) [n]: yes
Default domain name: domainname.com
Join centralized management environment (UCS Central)? (yes/no) [n]: no
Following configurations will be applied:
Switch Fabric=A
System Name=foo
Enforced Strong Password=no
Physical Switch Mgmt0 IPv6 Address=2001::107
Physical Switch Mgmt0 IPv6 Prefix=64
Default Gateway=2001::1
Ipv6 value=1
DNS Server=2001::101
Domain Name=domainname.com
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes

```

## CLI を使用した従属ファブリック インターコネクタの設定

この手順は、管理ポートに対し IPv4 または IPv6 アドレスを使用して第 2 のファブリック インターコネクタをセットアップする方法について説明します。



**Note** 新しいファブリック インターコネクタを既存の高可用性クラスタに追加する場合、たとえば、新規インストール時またはファブリック インターコネクタの交換時に、認証方式がリモートに設定されている限り、新しいデバイスはクラスタにログインできません。新しいファブリック インターコネクタをクラスタに正常に追加するには、認証方式を一時的にローカルに設定し、プライマリ ファブリック インターコネクタのローカル管理者資格情報を使用する必要があります。

### Procedure

- ステップ 1** コンソール ポートに接続します。
- ステップ 2** ファブリック インターコネクタの電源を入れます。

ファブリック インターコネク트가起動すると、電源投入時セルフテストメッセージが表示されます。

**ステップ3** 設定されていないシステムがブートすると、使用する設定方法の入力を要求するプロンプトが表示されます。**console** と入力して、コンソール CLI を使用した初期設定を続行します。

**Note** ファブリック インターコネク트가によって、クラスタ内のピアファブリック インターコネク트가検出されます。検出されなかった場合は、L1 ポートと L2 ポート間の物理接続を調べ、ピアファブリック インターコネク트가クラスタ設定でイネーブルになっていることを確認します。

**ステップ4** **y** と入力して、従属ファブリック インターコネク트가クラスタに追加します。

**ステップ5** ピアファブリック インターコネク트의管理パスワードを入力します。

**ステップ6** 従属ファブリック インターコネク트가上の管理ポートの IP アドレスを入力します。

**ステップ7** 設定の概要を確認し、**yes** と入力して設定を保存および適用するか、**no** と入力して設定ウィザードを初めからやり直して設定を一部変更します。

設定ウィザードのやり直しを選択した場合は、以前に入力した値が角カッコで囲まれて表示されます。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、**Enter** を押します。

### Example

次に、ピアのコンソールおよび IPv4 アドレスを使用してクラスタ設定の第2のファブリック インターコネク트가をセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect. This Fabric interconnect
will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y
Enter the admin password of the peer Fabric Interconnect:
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Address: 192.168.10.11
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
```

次に、ピアのコンソールおよび IPv6 アドレスを使用してクラスタ設定の第2のファブリック インターコネク트가をセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect. This Fabric interconnect
will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y
Enter the admin password of the peer Fabric Interconnect:
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv6 Address: 2001::107
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
```

## コンソールのセットアップの確認

SSH 経由でファブリック インターコネク트가にログインし、CLI を使用してクラスタ ステータスを確認することにより、両方のファブリック インターコネク트의設定が完全であることを確認できます。この手順では、[Cisco UCS Manager の初期セットアップ パート 3](#)をご覧ください。

次のコマンドを使用して、クラスタの状態を確認します。

コマンド	目的	出力例
<b>show cluster state</b>	<p>ハイアベイラビリティクラスターの両方のファブリック インターコネクタの動作状態およびリーダーシップ ロールを表示します。</p>	<p>次の例の表示では、両方のファブリック インターコネクタが <b>Up</b> 状態、<b>HA</b> が <b>Ready</b> 状態、ファブリック インターコネクタ <b>A</b> がプライマリ ロール、ファブリック インターコネクタ <b>B</b> が従属ロールです。</p> <pre>UCS-A# show cluster state Cluster Id: 0x4432f72a371511de-0xb97c000de1blada4  A: UP, PRIMARY B: UP, SUBORDINATE HA READY</pre>
<b>show cluster extended-state</b>	<p>クラスタの状態に関する拡張詳細が表示され、通常は問題のトラブルシューティングにこれが使用されます。</p>	<p>次の例は、クラスタの拡張状態の表示方法を示しています。</p> <pre>UCSC# show cluster extended-state 0x2e95da3d0f11e2-0x8ff35147e84f3de2Start time: Thu May 16 06:54:22 2013Last election time: Thu May 16 16:29:28 2015System Management Viewing the Cluster State A: UP, PRIMARY B: UP, SUBORDINATE  A: memb state UP, lead state PRIMARY, mgmt services state: UP B: memb state UP, lead state SUBORDINATE, mgmt services state: UP heartbeat state PRIMARY_OK HA READY Detailed state of the device selected for HA quorum data:  Device 1007, serial: a66b4c20-8692-11df-bd63-1b72ef3ac801, state: active Device 1010, serial: 00e3e6d0-8693-11df-9e10-0f4428357744, state: active Device 1012, serial: 1d8922c8-8693-11df-9133-89fa154e3fa1, state: active</pre>

## 管理ポリシーの設定

初期設定が完了した後、障害、イベント、ユーザ、外部ディレクトリ サービス、通信サービス、ライセンスなどのグローバル システム管理設定を行います。

さまざまな管理ポリシーの設定方法に関する具体的なガイダンスについては、次の表を参照してください。

タスク	参照先
タイムゾーン管理	<i>Cisco UCS Manager</i> アドミニストレーション管理ガイド
Cisco UCS Central への登録	<i>Cisco UCS Manager</i> インフラストラクチャ管理ガイド
ユーザ管理	<i>Cisco UCS Manager</i> インフラストラクチャ管理ガイド
通信管理	<i>Cisco UCS Manager</i> アドミニストレーション管理ガイド
(オプション) キー管理	<i>Cisco UCS Manager</i> アドミニストレーション管理ガイド
ライセンス管理	<i>Cisco UCS Manager</i> アドミニストレーション管理ガイド

## 装置ポリシーの設定

管理ポリシーを設定した後、シャーシ/FEX ディスカバリ ポリシー、電源ポリシー、MAC アドレス変更ポリシー、および SEL ポリシーなどの装置ポリシー（機器ポリシー）を設定します。

それぞれの装置ポリシーの設定方法に関する具体的なガイダンスについては、次の表を参照してください。

タスク	参照先
シャーシ/FEX ディスカバリ ポリシー、電力ポリシー、情報ポリシーなどのグローバル ポリシーの設定	<i>Cisco UCS Manager</i> インフラストラクチャ管理ガイド
SEL ポリシーの設定	<i>Cisco UCS Manager</i> アドミニストレーション管理ガイド

## ユニファイドポートの設定

機器ポリシーを設定した後、ユニファイドポートを有効にします。ユニファイドポートを、最初にプライマリファブリックインターコネク上で設定し、次に従属ファブリックインターコネク上で設定することを推奨します。

ユニファイドポートを設定する方法の具体的なガイダンスについては、次の表を参照してください。

タスク	参照先
ユニファイドポートの設定	<i>Cisco UCS</i> ネットワーク管理ガイド

## ファブリックインターコネクサーバポートの設定

ユニファイドポートを設定した後、ファブリックインターコネクサーバポートを有効にします。

ファブリックインターコネクサーバポートを設定する方法の具体的なガイダンスについては、次の表を参照してください。

タスク	参照先
ファブリックインターコネクサーバポートの設定  (注) Cisco UCS Manager リリース 3.1(3) 以降では、ファブリックインターコネクサーバポートを自動設定できます。	<i>Cisco UCS Manager</i> ネットワーク管理ガイド

## LAN 接続の設定

ファブリックインターコネクサーバポートを設定した後、ファブリックインターコネクイーサネットポートを有効にすることで、LAN 接続の初期設定を完了します。

LAN 接続を設定する方法の具体的なガイダンスについては、次の表を参照してください。

タスク	参照先
ファブリックインターコネクイーサネットポートの設定	<i>Cisco UCS Manager</i> ネットワーク管理ガイド

## SAN 接続の設定

LAN 接続を設定した後、ファブリック インターコネクト FC ポートを有効にすることで、SAN 接続の初期設定を完了します。

SAN 接続を設定する方法の具体的なガイダンスについては、次の表を参照してください。

タスク	参照先
ファブリック インターコネクト FC ポートの設定	<i>Cisco UCS Manager</i> ストレージ管理ガイド

## ワークロードの定義

*Cisco UCS Manager* の初期設定が完了したら、推奨される順序で次の手順を実行し、ワークロードを定義します。

ステップ	説明	参照先
組織階層の定義	<i>Cisco UCS</i> の組織構造により、 <i>Cisco UCS</i> リソースの階層設定が容易になります。ポリシー、プール、およびサービス プロファイル用に組織を作成することができます。どのリソース カテゴリの場合も、デフォルト組織は「ルート」です。必要に応じて、ルート組織の下に複数のサブ組織を作成できます。また、サブ組織の下にネストしたサブ組織を作成することもできます。	<i>Cisco UCS Manager</i> アドミニストレーション管理ガイド
プールの定義	<i>Cisco UCS Manager</i> では、vNIC や vHBA などのデバイスの固有のアイデンティティとリソースを抽象化するためにプールを使用します。また、サーバプールでは、類似するサーバ特性に基づいてさまざまなサーバをグループに割り当てることができます。	<i>Cisco UCS Manager</i> ネットワーク管理ガイド

ステップ	説明	参照先
アダプタの設定	Cisco UCS には、ハイパーバイザを含む大部分のオペレーティングシステム向けのアダプタポリシーが事前に定義されています。これらの定義済みポリシーには、アダプタのパフォーマンスを最適にするための設定が含まれています。	<i>Cisco UCS Manager</i> ネットワーク管理ガイド
サーバポリシーの設定	Cisco UCS Manager のサーバポリシーの設定には、BIOS ポリシー、ローカルディスク設定ポリシー、IPMI アクセスポリシー、サーバ自動構成などのサーバ関連のポリシーが含まれます。	<i>Cisco UCS Manager</i> サーバ管理ガイド
サービスプロファイルテンプレートの設定	Cisco UCS サービスプロファイルテンプレートは、類似する特性を持つ複数のサービスプロファイルを作成するために使われます。	<i>Cisco UCS Manager</i> サーバ管理ガイド





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。